

## 地域文化論

〈その210〉

ご報告「神戸の壁」  
新たな旅立ち

中西 康子

（芸術学博士  
「神戸の壁」保存委員会事務局）

初めて「神戸の壁」に接したのは95年5月のことである。晩春というのに全身震えを覚えた私は、保存活動を展開するというパフォーマー三原泰治氏に呼応し、事務局を引き受けた。理由は

①95年1月17日の阪神淡路大震災の物語的語り部とされること。

②45年3月、終戦間近の神戸大空襲という人類の蛮行の象徴物であるということ。

③壁そのものが造形的にもまた、経年という時間が作り出した美を直感したこと。の三点であつた

写真は、保存実行委員の一人である造形作家今井祝雄氏が情報提供してくれたもので、娘がイタリア出張時、撮影したものである。いかにうまくい文章や演説よりも壁にある小さ

なプレートに記された「1980年8月2日…」は含蓄のあるメッセージとなつてゐる。

2年前の2月（96年）、移設の内諾を得ていた。いよいよ今年、所有者の売却という事態に、急遽津名町側に於いて受け入れの承諾を得ることができた。津名町在住の眼科医高島玲子氏が昨年3月、私費を投じ設立された高島芸術文化振興基金によって、美術館建設が可能という。この接点を与えてくれたのが同町在住の園科医片山豊氏であつた。両氏は常々自分たちの住む町に対し実に有益な提言を行い、一切の功名を廃し私利私欲の存せぬ意識でありつづける方々であり、また町の長たる柏木和三郎氏は常に、住民の声が届く距離に在る事実に着目したい。

その町長が、震災後、考え方がかわつたという述懐する。「サリンなどのオウム関連の事件から、今年に到る数々の青少年異常事。また、範となるべき大人の社会はまさしく言語道断の政、官、財の歯牙にかけるも汚らわしい数々の事件に到つて、戦後50年に亘り蓄積されてきた権威、権力主義、管理統制主義となによりも経済優位の社会嗜好のもたらすひずみが顕著化したもので、次代を考えたとき、いかに精神的感動が重要な痛感している。この解決策は芸術にはかならない。感動を共有し、創造による自己発露、自己啓発そして人としてもっとも大切な哲学をする智を有す

る町として震災からの復興を確実なものにしたい」と。また「4月5日開通の明石海峡大橋は神戸と淡路がハード（道路）でつながり「神戸の壁」はハート（心）でつながる端緒となるだろう」ハードからハートへの町を標榜する津名町に適合する。

しかし、「神戸のゴミを津名に移す」などという実に気の毒な思考を表明する向きもあると聞く。そこで莫根団譚の「議夫殿毀土は寸雲の日を蔽ふがごとく、久しからずしておのづから明らかなり」を引用、そしてまた「公正正論は手を犯すべからず。ひとたび犯せばすなわち羞を万世に貽す」を引用して「神戸の壁」のゴミ呼ばわりに対応しておこう。

神戸の壁の処遇は否応無しに世界の注目の的である。文化的復興を掲げる神戸の一市民として、現地保存かなわぬ結果に面目なさを痛感するが、それにも増して、再開発計画に関わる専門家と呼ばれる人種に大いなる義憤を感じる。なぜなら96・4・5兵庫県建築士会主催のシンポジウムにおいて、以下の素朴な質問をした……まるで日本特産「幕の内弁当」的発想による都市計画。その土地特有の歴史的背景、地形や景観の無視、机上の積み木遊びの感否めない。地元建築士の参画があるのか……と。

こんな中で今回の英断。「神戸の壁」が津名町で凛と建ち、世界中の人々へのメッセージを発する物質的語り部として新たな旅立ちをすることをご報告する次第である。



イタリア ボローニャ 駅で1980年8月末確定のテロ集団によってひきおこされた爆破事件で破壊された壁。危険な箇所の壁の補修を行い、ホームと待合室の仕切りの為、ガラスをはめ込み保存した

# ●編集長特別インタビュー

## 温かみのある挙式を 兵庫キリスト教ブライダル協会オープン



小泉 設計時から携わったホテルオークラのチャペルで10年。数々のカップルを送り出されてきた小玉牧師がフリーになられたとか。

小玉 はい。ホテルでの挙式もいいのですが、予算やお好みでこじんまりとした結婚式を希望される方々も多いのです。そんな声にお応えしようと、兵庫キリスト教ブライダル協会をオープンしました。

小泉 例えばどのような結婚式を？

小玉 4月5日にいとこの娘の結婚式がありました。岡山の小きなイタリアンレストランで、両家の親族、友人が集まって30名ほどでしたでしょうか。皆がカラオケで楽しみ、私などはマジックを披露してとても雰囲気がよくたので、私に同行した聖歌隊も好評で、新郎新婦のお二人にも記念になると大変喜んでいただきました。



今の時代、お金を使う結婚式ばかりでなく、家庭やレストランなどでオリジナリティのあるものを求める方々が増えていきますね。式にあまりお金を使いたくないとおっしゃる方もいらっしやいます。



豪華でなくてもお二人の思い出に残る結婚式。私はそのお手伝いがしたい。人に喜んでいただくことが私の喜びですし、動き回っている方がボケ予防にもなると家内から言われます(笑)。

小泉 ところで、最近ニセ牧師が結婚式を挙げるケースがあると聞きましたが、本当なんですか。

小玉 牧師になるには、9〜15年かかります。結婚式用のマニュアルを覚え、挙式をする即席牧師がいるようですが、本物かどうかはお話を聞けば分かります。マニュアルの説教で人の心を動かすことはできませんから。

小泉 そうですね。以前、ホテルオークラで小玉牧師のお説教を聞いて感動したことを思い出します。これからも素敵な結婚式を、そして厳しくも温かいお話を聞かせてください。

■兵庫キリスト教ブライダル協会

神戸市灘区水道筋6・7・10・601

TEL. 078-871-6795

日本キリスト教団 牧師 小玉洋之助

摩 訶 不思議

## TAKARAZUKAに迫る

対談 Vol. 18 宝塚とタンゴ

### リズムの揺らしに 自分の色を写し込めるタンゴ

大浦みずき VS 門奈紀生

〈女優〉

〈バンドネオン奏者〉

せられてしまった。後からそれがバンドネオンだというを知って、そこからはもうタンゴ一筋です。

大浦 最初は、アルゼンチンタンゴのダンスのほうをやったかったです。でも踊れる男性が少ない。ソシアルの方は踊り手がたくさんいらつしやるので、無理やり自分のショーで場面を作ってやり始めた頃に、門奈さんと出会った。一番いいタイミングに出会えたと思います。

門奈 バンドネオンは、操作が複雑で、独学で始めたんですが思うように進まなくて、タンゴバンドに教えてもらいに行った。ところがいきなりユニフォームを渡されてステージに出された、弾けないと恥ずかしいですから一生懸命練習しました。

大浦 アストロリコのみなさんのお話しを伺うと、はい、では始めましょうという軽いノリで始めてはいけないような気がして。少しずつ積み重ねていくスタイルを取りたいと。でも締め切りを作らないとできなくて、曲を選んでいただいたんです。

門奈 期限をいただかないと、と言って来られたので本気なのがあった。タンゴは悲しみとか悩むとか嘆きとか、そういう内容が多い。しかも男性が振られる歌で、すごい女々しい。日本人が歌うと本当に女々しくなつて絶望的になる。本質はそう歌いながらも、次の日には「俺、そんなこと言ったか」という粹なところこそが、タンゴの本質。その部分が大浦さんの歌の中にある。

大浦 ジャズとかシャンソンであれば、お手本が多いですから、それに右へならえをする。そういう意味で、タンゴに関しては、真似をした人はいなかったたので、自分の素材

宝塚歌劇の幅広い、多彩な魅力に迫る対談シリーズ。18  
回目のキーワードは「タンゴ」。

在団中、華麗なダンスで魅了し続けた大浦みずきさん。退団後6年を経て、宝塚の舞台でも馴染みのあったタンゴの世界に本格的に出会い取り組み始めた。

日本でも有数のバンドネオン奏者である門奈紀生さんとの対談は、日本のタンゴ界に新しく誕生する、歌って踊れるタンゴスターの模索を語る場となった。

門奈 中学時代に、友達から借りたレコードがタンゴだった。そのレコードから流れてくる不思議な音色の楽器に魅



だけで歌っている。歌は生の感情を歌うものだから模倣から入るよりはストレートにいきやすいのかなと思います。独特の音色とか節回しとかがあるでしょうから、究極はアカペラで歌ってタンゴだとわかってもらえることなんではないかね。どんなジャンルの曲も知れば知るほど根本は同じ

と思うから、逆にどうしたらタンゴになるか分からなくなる。

門奈 古いタンゴを歌って欲しかった。ピアソラは、タンゴを知らなくても入りやすい。まだピアソラ以前の古い歌までは到達していないけれど、ピアソラを歌えばそのエキ

大浦みずき＝おおうら みずき 74年宝塚歌劇団入団。88年花組トップスターとなり活躍後91年退団。女優としてミュージカルからストレートプレイまで幅広い舞台に立つかわら、ショーの世界にも意欲的で新たにタンゴに挑戦中。次回作は、6月シアタードラマシティでのオリジナルショー「Che Tango」

門奈紀生＝もんな としお 東京出身。1960年代のタンゴ隆盛期にオルケスタ・ティピカ・ボルテニア、ロス・タンゲロスなどの名流楽団で活躍。国内外で好評を博す。91年京都でアストロリコを結成。情豊かな奏法で、新しいタンゴアンサンブルとバンドネオン音楽の展開を目指す。大浦みずきとの共演CD「Che Tango」を6月発売

大浦 いろんな曲を聞き込んでいかないとわからないものですね。「あいうえお」を教えてもらってやっと一年生が過ぎて、じゃあ今度は「さくらがさいた」を書こうかなという状態です。アルゼンチンで録音しているときは、これは歌にすごい作用を及ぼしていると感じたけれど、日本食になると、戻ってしまふ。やはり肉を食べていないとだめなのかと

スがあります。古いタンゴの場合、日本語のいい歌詞がついているものが少ない。それが一番問題で、詩をつけることを早急にやらなければいけない。スペイン語で歌っても問題はないけれど、はっきり日本の方にわかるタンゴを歌って欲しかった。そういう意味で日本語でいい歌詞がついたものから選んで歌い始めていた。僕の場合は、レコードが先生でしたから、このように弾きたいと思って弾いてきた。それがたまにピアソラだったり、トロイロだった。初めからこういうものをやりたいと思ってやってきた。いまだう弾いても自分の弾き方しかできないし、それが誰かに似ているということもないと思います。

思いました。

門奈 あ的气候、食生活の中から生まれてきたというのは感じます。いくらレコードを真似しても違うのはそういう部分が大きいと思う。ずっと本場の空気に触れずにやると限界がある。タンゴをやめようと京都に来たものの、東京のバンドに弾きに行く生活は続いていて、そのうち京都でアマチュアのバンドとやるようになっていまのアストロリコのメンバーとの出会いがあり、関西でバンドを作れると思って始めた。若い人達にタンゴを知ってもらいたかった。クラシックをやっている人達がタンゴを弾くと楽しいという。演奏家を育てるには、クラシックをやっている人達にタンゴを聞いてもらうことが大事だから、クラシックのコンサートホールを探して、マイクを使わずに生で聞いてもらうコンサートを始めた。実際にクラシックの演奏家がタンゴに近づいてきて、そういうのが積み重なっていたところに去年はヨーロッパでギドン・クレームルがピアソラを始めた、アストロリコを始めたときの気持ちがいرونなところで起こっていて、ピアソラがなくなつて5年たつてようやく沸騰してきたんだと思います。いまは、アストロリコのバンドネオン、バイオリン、コントラバス、ピアノという編成が標準の一番小さい編成です。昔はオルケスタ・ティピカといってバンドネオンが4人、バイオリンが4人、ピアノ、ベースが標準でしたが、アルゼンチンでも経済的



な事情と演奏家が少なくなつたこともあつて小編成が主流になっていきます。  
大浦 音楽も歌も踊りもすべて要素で理想的なのは、マイクを使わないででき

る小さなスペース。タンゴの良さが一番伝わる。ただ、せっかくわたしには舞台という場があるし、多くの人に見ていただきたい。人間が誰でも生きていく上でもっている、シンブルなものをタンゴは表現している。わたしはそのシンブルさに惚れている。いまはどうしても、電気音楽が入ってくる。一定のテンポで刻んでいるものはリズム的に動かし方がない。それはそれでおもしろいと思うところもあるけれど、人間的じゃない。いままでのCDは、伴奏は歌と別録音で取っていたのが、今回できないことが多い。それは本当に生で動いているからで、すごくストレートで素材である。だから半分ライブみたいな感じでレコーディングした。多分ほつれたり、破れたりしたところがあるだろうけれど、それが使い込んでる良さに感じられる。

門奈 ジャズほどの自由さはないけれど、クラシックほどの決まりはない。そこがタンゴの良さ。リズムもデジタルでない音楽的な揺らしがある。この揺らしがタンゴ独特のもので、クンパルシターだけでも500はバージョンがあつて全部違う。アレنجが自由にできるからどんどん増える。それがおもしろいところ。独特なメロディの崩し方がある。なぜタンゴがそうなるのかというと、ブエノスアイレスの人の屈折した物の考え方がそのまま出ている。ピアソラが自分の音楽はあくまでもタンゴだといっているのはその部分ではないかと思う。

大浦 外国にいくとそれぞれの都市のイメージが濃厚にある。ブエノスアイレスはヨーロッパ的。自分は今どこにいるのかと思う。スペインの人達が作つたせいとか、アルゼンチンらしい何かの匂いが薄く感じられる。自分たちの独自の何かが形のうえには現れなくて、中に中に入っている人たちのかなという印象です。文化的なものがヨーロッパから直接入っているし、昔は金持ちの国だった。タンゴは金持ちに成れなかった人達が作つていったんでしょ。だから、表面的にはブエノスアイレスはタンゴと結びつかない。夜、タンゲリアをのぞけば濃厚ですが、昼間



アストロリコのメンバー ピアノ・平井かほる、バンドネオン・門奈紀生、コントラバス・大塚功、バイオリン・麻場利章と大浦みずき

はかけらもないですね。

**門奈** ソシアルダンスはリズムで踊る。アルゼンチンタンゴはメロディを聞いて踊る。揺らしても平気なんです。リズムが揺れても大丈夫である点が根本的な違いです。

**大浦** ダンスの組み方も違うんです。ソシアルはソッポ向いて、胸からおなかの当たりがくっついていて。いま、アルゼンチンではやっているダンスは顔だけがくっついていて。アルゼンチンタンゴの方が人を選んで踊りたくなる踊りです。

**門奈** リズムの揺れも全体で揺れますから、編曲の段階でちゃんと決め込んでいる。歌い手が歌いたいように延ばせば、それに併せて対応していきますし、そういうやり取りがおもしろい。

**大浦** 普通、歌と伴奏という感じに分かれる。それがタンゴはメロディラインをいっている歌と感じるときがあります。アストロリコの伴奏で歌っていてそのなかで聞こえてきたり、見えてきて感じるもので思わぬ展開になっていくことがある。

**門奈** 楽器の一つみたいな感じのところがありますから。もちろん歌はフロントですが、ほとんど対等の部分もあります。歌いたい人、演奏したい人がもつと若い人の中から出てきて欲しい。ただ、プロでやるんだというところまで思い込まないとタンゴはできない。コンチネンタルタンゴはきれいなリズムで初めから終わりまで刻まれ、揺らしがない。アルゼンチンタンゴの揺らしにこそ自分の色が出せますし、魅力を感じます。

**大浦** 本格的に取り組む前に知っていたのは、コンチネンタルタンゴばかりだったんです。ブエノスアイレスで、現地の方がギター一本で歌っているのが、知らない曲ばかりで、アルゼンチンタンゴを知らないことを確認した旅でもあった。タンゴの楽しみ方はいろいろある。知っているところを入り口に、今回のショーでは、タンゴで楽しく遊べたらと思います。

（企画・構成／瀬川直子 取材協力／ドス・シバリス）



ある集い ■ 恋雅亭同人会

## 恋雅亭同人会の正体

神戸の笑いの殿堂「もともち寄席 恋雅亭」はこの四月で開席二〇周年を迎えた。今はなき笑クリエイト社の楠本藩章社長が当時の上方落語界の大御所六代目笑福亭松鶴師、神戸風月堂本店の下村社長らの協力を得て「ミナト町神戸」にも落語の定席を」と元町に開席したのがそもそも妹背の始まりである。現在では数少なくなった本格的な上方落語の定席である。ところが四年前に楠本社長が突然の他界、その伝統はもはや風前の灯火となった。

「神戸から落語の灯を消してはならない」という故人の遺志を継ぐ形で発足したのが今回ご紹介の恋雅亭同人会である。メンバーの多くは会社員であるが、主婦から医者までとなかなかその守備範囲は広い。共通点といえば、何らかの形で生前、楠本氏にタダ酒を飲ませてもらった経験があることくらいで、きわめて義理堅い(?)連中七、八人が寄り集まった集団なのである。その後、若干のメンバーの入れ替わりはあるが、いずれにしても真正正銘のボランティア集団で、そのモットーは「清貧」。行動指針は「来るものは拒まず」。因みにこれらは楠本氏が最も好んで使われた言葉であるが、これを座右の銘として、この世知辛い世の中、精神世界の満足感に価値を見出せる時代がきつと来ることを夢見ながら、一味違ったボランティアのあり方をこれからも模索していきたいと思う。それにしても運営の難しさ(台所事情もまた)に直面するにつけ故人の偉大さをあらためて痛感する今日この頃である。―会章。

「もともち寄席 恋雅亭」は毎月十日午後六時半より開演。

■神戸風月堂本店地下ホール  
お問い合わせ 恋雅亭同人会 TEL078 (734) 3510



ある集い ■ 七廉会

プロなのに、プロだからこそ。

「最近、これがプロなのかと言いたくなる様な展覧会が目につく。なるほど芸術家には資格がないので、私はプロだと言えばそれで通る。昨今のカルチャーブームも然り、講師はまともな指導をしていないのではないのか。だからアマとの境界も曖昧なのだ。プロ作家ならば、ここで一から基本となるデッサンをし直す必要がある。どうだ、君たちが礎となって今後への模索のための勉強会を始めないか」と提案したのが本会の主宰者、あの元町画廊の佐藤廉。「先生が言うんやったら、いやとはいえない」と腰を上げたのが、石永皓一郎と共鳴して集まった現在のメンバー七名である。

大震災後の人として画家としての価値観の混沌の中から、もう一度原点に帰って何かを見つけたそうと、九十六年四月、ダイヤモンドアートクラブでデッサンの勉強会がスタートした。日本画、バステル、油絵、水彩と専門分野が違い、美術団体に所属している者もあればフリーの者もいる中での勉強会。だからこそ、無垢な交流が楽しくもあり、半歩ずつでも前進しようというエネルギーにあふれている。そして、モデルを囲んでヨイドン、うーんと唸りながらのデッサンが日々の創作を支える原動力となっている。

九十七年三月にはダイヤモンドギャラリーでデッサン展を開催、今年（九十八年）の四月にはハーバランド神戸阪急でデッサンからの本画による七廉会展を開催した。

同じモデルから多様な表現が生まれ、お互いの成果を確認し合っつてより個性を高めようというプロ作家たちの人体美研究集団、それが七廉会である。

■七廉会メンバー

（写真前列右より）丹下幸男、石永皓一郎、平田郁、保田治（後列右より）下垣内登貴子、タカノ卯港、佐藤廉（元町画廊）  
※撮影当日メンバーの一人伊藤弘之は欠席

# 神戸のお嬢さん

(244)

## 音色のごとく、心やさしく さわやかなお嬢さん

木村 礼子さん

〈フルート奏者〉

いつも明るくさわやかなお人柄の礼子さんは、生粋の「神戸のお嬢さん」です。中学二年から始められたフルート演奏の技術は、神戸山手女子短期大学音楽科から専攻科へと更に研鑽を積まれて、現在は、各方面での演奏活動のほか、音楽教室の講師を勤めながら、ボランティア演奏にも、たびたび参加されています。その美しい音色は聞く人の心をなごませてくれます。何事にも真面目で聡明なご性格はいけばなのお稽古にもあらわれて、今も教授の資格を得るために熱心に勉強されており、これからの礼子さんを楽しみにしております。



推薦者 山本美秋園  
いけばな松月堂流教授

写真／池田年夫



生田神社会館にて

mademoiselle de Kobe

# 神戸のお嬢さん

〈245〉

## 神戸と大阪の 華の架け橋に

山崎

龍子<sup>りゅうこ</sup>さん

＜アンナモリナーリハービスプラザ店勤務＞



初めての出会いは、神戸相楽園での関

西日瑞協会（会長・宮崎辰雄前市長。当

時私は役員・代表幹事）のパザーでの献

身的な活躍ぶりだった。老若男女誰の心

にも解けてむその人柄で国際交流はお手

のもの。帝塚山短期大学文芸学科卒業後、

ファッション関係の仕事に携わり、今や

大阪ハービスプラザのトップブランド店アンナモリナーリにつとめ

る。神戸の洋菓子店と菓子づくりにも造詣深いお嬢さん。彼女の尊

父は名刹の御住職。日本友来伝統の美しさも兼ね備える。「神戸と

大阪を架ける華の架け橋」龍子さんの更なる活躍を期待する。



推薦者 細見 成男  
（編集代表取締役）

写真／栗原敏明

大阪市役所前にて



さんちかリニューアルオープニングフェアでは元永定正氏の作品展がさんちかホールで行われた

## santica

The New Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか



■複合アミューズメントビル  
E・I・T（エイツ）ビル登場  
この三宮の新しいアーケードの完成と共に、注目を集めているのはセンター街のほぼ中央に面した「E・I・T」（エイツ）ビル。映画、パソコン、スポーツ用品、書店と20の専門店からなる複合アミューズメントビルである。



DRAMATIC  
ド ラ マ ッ ク  
E. I. T

神戸の顔がぞくぞくと新しくなってきた。さんちか、センター街のオープニングセレモニーには多くの人が詰めかけ歓声をあげた。神戸復興を支える三宮周辺の商業施設を紹介。

■さんちかリニューアルオープン  
3月20日にリニューアルオープンしたさんちか。開業33年を迎え、21世紀に向けた新しいゾーンとして出発した。店舗配置も大幅に入れ替わり、新規店も加わって、新しい魅力を満喫できそう。



ロッパでも有名なイベント、例年多くの観光客で賑わう。大きなお祭りになりそう。

■今秋センター街で新しいイベント  
今秋9月25日〜10月4日まで（予定）、センター街が姉妹都市提携を結んでいるフランス・ニース市との提携イベントが企画されている。ニースのカーニバルはヨーロッパでも有名なイベント、例年多くの観光客で賑わう。大きなお祭りになりそう。

流行発信ストリート



KOBE・三宮センター街

ニューヨーク5番街姉妹提携 コートダジュール姉妹提携



■三宮センター街アーケード完成  
一方、震災以降アーケードの復旧が待ち望まれた三宮センター街も3月28日リニューアルオープンした。新しくなったアーケードの下では、竣工式に合わせて、多彩なイベントが繰り広げられ、多くの人でにぎわった。

センター街の顔となるアーケードは自然を採り入れたアメニティ空間。広がりや軽やかさを感じさせるスケルトン構造、テフロン膜を使用し直射日光を和らげている。コンピュータ制御のスライドと跳ね上げ式のルーフによって、光や風を取り込める仕組みになっている。

▼さんちかグルメスクエア▼

古き良き時代をイメージした  
落ち着いた店内。  
確かな味と心を込めた技で  
お迎えします。



穴子料理  
さがみ自慢の味。

穴子の柳川鍋……………680円  
穴子のせいり蒸し……………700円  
焼き穴子……………750円  
穴子の天ぷら……………700円  
穴子にぎり寿司……………700円

和食の良さと確かな技。

味彩弁当……………1,480円  
海老天ぷら・煮物  
焼物・茶碗蒸し・お吸物  
かやくご飯・お新香



◎お好み和食 さがみ 11-11-11

神戸市中央区三宮町1-10-1さんちかグルメスクエア内  
TEL.078-391-5069 営業時間／11：00～22：00

◆ご宴会・ご会食のご予約を承ります◆  
◆4名様から20名様まで大小個室をご用意いたしております◆

▼さんちか味の街レストランモール▼

和気あいあいと気軽に楽しめる店

海の幸、自家製豆腐、ワイン、吟醸酒  
こだわりの一品を存分に



阪神三宮駅すぐ横  
そごう百貨店地下正面入口前  
TEL.078-326-7666  
営業時間／11：00～21：00  
(ラストオーダー)

海鮮  
豆腐  
ワイン  
4人代官  
酒席

▼さんちか味の街レストランモール▼

～トアロード黄老の姉妹店オープン～

季節の広東小菜から点心まで、手軽な価格でいろんな味を



◆コースもご用意◆

ミニコース (2名様) 1800円～  
おまかせ点心コース 2500円

神戸市中央区三宮町1-10-1  
TEL.078-391-1930  
営業時間／11：00～21：00  
(ラストオーダー)

広東小菜と点心  
黄老  
OU-LOU



# Welcome三宮



## ▼さんちか8番街フードパレット▼

### 本場南京町の 中華点心をどうぞ

～お持ち帰り専門・中華総菜店～



- 手作り豚まん……………140円
- ミニ豚まん(6個入) ……450円
- 焼きそばまん……………100円
- ひとくち餃子……………250円〈にんにく抜き・10個入〉
- ハニーポテト(180g) ……300円



◆お持ち帰り用  
日替わりランチ、中華  
弁当(400円～) ご用  
意しております。  
◆地方発送、電話予約  
承ります。お気軽にお  
申し付け下さい。



## 皇蘭

神戸市中央区三宮町1-10-1  
さんちか8番街フードパレット内  
TEL078-391-4980 営業時間10:00～20:00

## ▼さんちか3番街ホーム＆ライフ▼

書籍のことなら  
おまかせ! **コーベブックス**



神戸市中央区三宮町1-10-1  
TEL.078-391-4749  
営業時間/10:00～20:00



### 東映系封切 神戸三宮東映劇場

4月25日～5月22日「蓮如物語」  
5月23日～「プライド～運命の瞬間」とき

### 洋画ロードショー 神戸三宮東映プラザ

4月25日～ 「ジャッキー・ブラウン」  
次回ロードショー「スフィア」



神戸市中央区三宮町1丁目6-18  
三宮センター街 E.I.Tビル5F  
神戸三宮東映劇場 TEL.078-391-6757  
神戸三宮東映プラザ TEL.078-391-6758

### ♪チケットプレゼント♪

劇場招待券4枚プレゼント (5月、6月有効)  
宛先は神戸市中央区下山手通3-1-18月刊神戸っ子  
「三宮東映・劇場招待券プレゼント」係

## 三宮の心地よい木陰・うるおいの泉 カフェテラス・ロンブル

ロンブルとは陽よけのこと  
乾ききったサバンナに緑の木が一本  
そこには心地よい木陰と乾きをうるおす泉がある  
ロンブルはそんなイメージを空間にした  
カフェテラスです



### おすすめメニュー

- アップルスカッシュ……………¥500  
(青森のアップルシロップのソーダ割り)
  - 柚スカッシュ……………¥500  
(高知の柚シロップのソーダ割り)
  - アイスエスプレッソ……………¥450
  - フラッペ……………¥700  
(柚ゼリー、コーヒーゼリー、抹茶&小豆の3種類)
- ※その他、モーニング、日替わりランチなど  
おいしいこだわりメニューがいっぱいです。

三宮の心地よい木陰・うるおいの泉



ロンブル

神戸交通センタービル2F

TEL.078-391-4057

AM9:00~PM9:00

(ラストオーダーPM8:30)

ランチ、ティータイム、ディナー、パーティタイムとお好きな時間に

## イタリアヘトリップ

エントランスに足を踏み入るとそこは、イタリア。自慢の石焼窯でこんがり焼き上げたピッツァ、本場のイタリアのバスタ料理はもちろん、明石昼網でとれたての魚介類をふんだんに使用したメインディッシュの数々。イタリアンテイストにこだわった「オクロック」でイタリアン気分を満喫して下さい。



おすすめ料理

- 貝柱のウニクリームスパゲティ……………¥1,300
  - タコ墨とイカ墨のハーフ&ハーフスパゲティ……………¥1,300
  - スパゲティと魚介のパエジャ……………¥1,200
  - シーフードピッツァ……………¥1,300
  - カルツォーネオクロック風……………¥1,500
- \*イタリアンワイン、エスプレッソなどドリンク類デザートも豊富にご用意いたしております。

イタリア料理の店

PIZZA & SPAGHETTI

Oclocck

イタリア料理の店「オクロック」

神戸交通センタービル9F TEL.078-331-1122

11:00~23:00 (22:00ラストオーダー) 年中無休

カフェ&レストラン

# Café de Kobe 旧居留地十五番館、4/29オープン



## ●おすすめメニュー

- 十五番館ブレンドコーヒー…………… ¥450  
紅茶とサンドイッチ・  
スコーン・ケーキのセット…………… ¥1500  
十五番館ハイカラハヤシライス  
(ビーフ&シーフード) …………… ¥953  
コース料理…………… ¥3500～

\*他、アメリカ領事館の総領事おすすめのアメリカ地域料理は、ワイン・ビールにぴったり。パーティールームあり。

旧居留地にまた懐かしい顔が戻ってきた。120余年の間、神戸子に愛されてきた国の重要文化財「十五番館」が震災より復興し、4月29日、株式会社トーホーが経営するカフェ&レストラン「Café de Kobe 旧居留地十五番館」としてオープン。異国情緒あふれる雰囲気の中、ゆったりと時を過ごすことのできるスペースとして早くも人気を集めている。

「十五番館」は木骨煉瓦造2階建ての洋風建築で、南側にベランダを持つコロニアル(植民地)様式。1880



年頃に建てられ、当初はアメリカ領事館として使用されていた。震災で全壊したものの、建築当初の材料を再利用し、免震工法を取り入れて復元された。

エントランスホールにはイオニア式の柱とアーチ。ダイニングルームやラウンジルームはシックなインテリアでまとめられ、テラスの客席はロマンチックな時間を演出してくれる。そんな贅沢な空間ながら、ランチやディナー、ティータイムそれぞれに手軽な価格で楽しめるのが嬉しい。

旧居留地の風が吹き抜ける憩いの場所として、大切な人との安らぎの場所として一度利用してみてはいかがでしょうか。



カフェ・ド・神戸 旧居留地十五番館

〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地  
TEL.078-334-0015 営業時間 10:00~22:00  
JR神戸線「元町駅」から徒歩10分 神戸市立博物館西隣り

# 田中 忠雄回顧展

1998年 6月21日(日) まで [展示室2・3]

Tanaka Tadao



Thy Kingdom Come みくにを来たらせ給え 1950 本館蔵

同時開催 収蔵作品展Ⅰ [展示室1]

## 神戸市立小磯記念美術館

Kobe City Koiso Memorial Museum of Art

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7 TEL.078-857-5880

◆開館時間・午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

◆休館日・毎週月曜日(ただし5月4日は開館)、5月6日



### ◆入館料

	一般	高校・ 大学生	小学・ 中学生
当日	800	550	300
団体	600	400	150

※団体は30名以上

### ■解説会

毎週土曜日 午後1時～  
当館学芸員のスライドによる  
作品解説

◆交通/JR神戸線住吉駅・阪神魚崎駅乗り換え、  
六甲ライナー「アイランド北口」駅下車、西へ徒歩すぐ

TATE  
TATE GALLERY  
MASTERPIECES OF BRITISH ART FROM THE TATE GALLERY

英国絵画の殿堂

## テート・ギャラリー展

最高傑作100点を特別公開 [16世紀から現代まで]

'98・6・28(日) まで

月曜日休館 ただし5月4日(月・休)は開館、5月6日(水)は休館

開館時間/午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで)

観覧料/一般1000(800)円 高大生700(500)円 中小生400(200)円

\*( )内は前売り・20名以上の団体料金、県内の中小生はココロカード持参で無料

主催/兵庫県立近代美術館、テート・ギャラリー、ブリティッシュ・カウンシル、読売新聞大阪本社、NHK神戸放送局 後援/外務省、文化庁、英国大使館、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、(財)伊藤文化財団 協賛/BP JAPAN、JR西日本、非破壊検査株式会社、大成建設株式会社、同和火災海上保険株式会社、オリンパス光学工業、(財)大同生命国際文化基金 協力/日本航空、日本通運



ジョン・エヴァレット・ミレー「オフェリア」1851年-52年 © Tate Gallery

## 兵庫県立近代美術館

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

〒657-0837 神戸市灘区原田通3-8-30 TEL.078-801-1591

(交通案内) JR灘駅、阪急王子公園駅より徒歩5分、阪神岩屋駅より徒歩15分。

神戸市バス王子動物園前下車すぐ。(来館には電車、バスをご利用下さい。)





## 今啓パール

対談シリーズ 11

# 舞うことで明かりを

大和松蒔さん

（地頭舞・大和流楽亭）

今井啓介さん

（今啓パール（株）代表取締役社長）

“女の情”を舞う大和松蒔さんと今啓パールの今井啓介社長が、明石海峡大橋（パールブリッジ）を望みながら語りました。

## ★パールブリッジが取り持った対談

今井 このように外で対談するのは初めてのことでないかと思えます。これもパールブリッジのおかげですね。

大和 今井さんは二十五年ほど前に初めてお会いした頃と全然変わらないうえね。紆余曲折が随分とおありになるのにそれがお顔には出てこないのは、修行の度合いが違うのでしょうか。

今井 仕事や恋愛などは随分と失敗しており



大和松蒔（やまと・しょうまき）昭和24年、7歳で花柳流入門。藤間流・観世流能楽も修行。同38年、松本尚蒔として松本流師範に。平成元年独立し、大和松蒔に改名。大阪文化賞を3回、大阪舞台芸術奨励賞、明石文化功労賞、神戸市文化賞奨励賞など多数受賞。現在、古典芸能の会代表。NHK教育テレビ「邦楽花舞台」でも活躍中。

ますが、その経験があつたからこそ今の自分があるのだと思っています。

大和 どんな方にお目にかかっても、その人が暗いときは「何かあつたのかな？」と思うことがありますけど、今井さんはいつも表情が変わらなくて包み込むような雰囲気を持っていますよね。

今井 「あなたは悩みがないのか？」とよく言われますよ（笑）。自分であつて自分でない、自分を意識しすぎると厳しい顔になってしまふみたいです。

## ★オーラにつき動かされて舞う！

大和 今回の舞「出口の柳」（※）は「狂い」と



今井さんと大和さん。明石の「人丸花壇」で

「艶」をテーマにしているのです。日本の舞の原点に「狂い」があると思うのです。抽象的な狂いと具象的な艶がだせればいいと思っています。

今井 先生の舞には以前は激しい闘いのようなものがあつたのですが、そこから脱却されて今では「女性の秘められた美」のようなものを感じるのですが。

大和 いちばん難しいことだと思ひますが、自分の内々に燃える青白い炎に対して鞭打っているのだと思ひます。私ひとりが舞っているわけではなく、何かにつき動かされて舞っているのではないかと感じだしたのは地震後ですね。

今井 舞っているのは自分ではなく、踊りの精に舞わされているという感じですね？

大和 ある意味そういう部分があると思ひます。積み重ねの大切さですね。若い頃はそん



パールブリッジを望む大和海岸で

なことは信じられませんでした。今では自分の周辺のオーラに押されて舞っているような気がしています。

今井 人間は人が「つくる」とか「生まれる」というのではなく、神からの「授かりもの」です。だから必ず何らかの使命を持っている。先生は大和松蒔という名前前で踊ることでもみんなに明かりを灯す使命を果たしているのでしょうか。

#### ★引き継がれるべき歴史と古典

今井 明石海峡大橋の愛称が公募でパールブリッジに決まりました。点灯したときに真珠のネックレスのように見えるからなんです。『日本書紀』に明石の海で真珠を取ったという話が載っているんですよ。そんな経緯があった上で投票の結果決まったのがパールブリッジなのです。

大和 そのようなことを知る人は少ないですよ。パールブリッジの開通でその歴史が紐解かれれば、また次の世代の子どもたちにも日本の古典が引き継がれていきますよね。

今井 歴史を学ぶことがいかに大切か。先生の踊りも古典芸能ですが、若い人たちにこそ見てもらいたいものだと思います。今日はありがとうございます。

※第36回 大和松蒔舞の会  
6月7日(日)

(第1部)午後1時～4時 (第2部)午後5時開演  
湊川神社神能殿

# ～パールフェスタ1998 6月1日は『真珠の日』～

主催：社団法人 日本真珠振興会 後援：農林水産省／通商産業省／日本貿易振興会／兵庫県／神戸市／神戸商工会議所 協賛：マツダ／アンフィニ兵庫／神戸マツダモータース／日本航空／ネスレ日本／つるや衣裳店／ミキモト化粧品／神戸阪急ブライダルサロン／阪急共栄物産

## パールパーティー'98

■日時：6月1日（月）「真珠の日」

■場所：神戸ポートピアホテル

■プログラム

- ・パールプリンセス発表
- ・パールデザインコンテスト&パールファッションショー
- ・ライブコンサート

## パールプリンセス発表

1998年3月16日～4月13日まで全国より一般公募された1402名の中から、代表パールプリンセス1名、パールプリンセス2名、パールアイドル1名の発表が行われます。

## パールデザインコンテスト & パールファッションショー

インターナショナルパールデザインコンテストの入賞作品の発表。その中の優秀作品をファッションショースタイルで紹介いたします。モデルは97パールプリンセス及び98パールプリンセス。ショーのラストは岡田真澄さんのエスコートで、ウェディングドレスで登場します。

- 総司会 岡田真澄  
審査委員長 大内順子（ファッションデザイナー）  
審査員 斉藤慶子（女優）  
審査員 鳥越マリ（女優）  
審査員 田嶋俊作（日本真珠振興会会長）  
審査員 御木本豊彦（パールプロモーション委員会委員長）  
審査員 中村俊之助（パールプリンセス審査委員長）

◆パールフェスタ1998に関するお問い合わせ

社団法人 日本真珠振興会（パールプリンセス実行委員会）



人に、美しいもの。

 **大月真珠**

神戸市中央区港島中町6丁目4-1

TEL.078-303-2111（代）

FAX.078-303-6250



**山勝真珠**

本社／神戸市中央区山本通2丁目5-3

TEL.078-231-8141

さんちか店・さんちかローザベニュー

TEL.078-391-4325

西神オリエンタルホテル店（ホテル1F）

TEL.078-997-0052

大阪・京都・岡山・東京・横浜

**MORI**  
**Pearls**  
Co., Ltd.

**森真珠 株式会社**

本社／神戸市中央区二宮町1丁目4-15

TEL.078-241-2125（代）

2Fショールーム／TEL.078-222-5881

オーバ店／TEL.078-262-2858



**タカハシパール株式会社**

神戸市中央区山本通1丁目6-20

TEL.078-221-0075（代）

FAX.078-221-0141

製品部直通

TEL.078-221-6656

FAX.078-221-6625



**CONTESSA MIA**

Produced by TEISHIN TRADING CO. LTD.

**TEISHIN PEARLS**

**帝真貿易株式会社**

本社 神戸市中央区加納町4丁目8-17

ショールーム TEL.078-391-2126

FAX.078-332-1551

# MIKIMOTO

株式会社ミキモト

神戸市中央区山本通4丁目20-1  
TEL.078-221-9882

PEARL COMMUNICATION



kinoshita  
pearl

パールサロン神戸  
神戸市中央区山本通1-7-7(北野坂)  
TEL.078-221-3170  
FAX.078-221-9427

 田崎真珠

神戸市中央区港島中町6丁目3-2  
TEL.078-302-3321  
FAX.078-302-4521



今落パール株式会社

本社 神戸市中央区山本通2丁目6-15  
パールビル  
TEL.078-242-3399 (代)  
ショールーム TEL.078-242-7380 (代)



HAKUHODO  
白 寶 堂

本店 神戸市灘区篠原中町1-2-4  
TEL.078-881-6000  
芦屋店 芦屋市船戸町4番1-129  
TEL.0797-22-8800  
六甲アイランド店 神戸市東灘区向洋町5-15-128  
ジ・アンタナテ  
TEL.078-858-1055



後列左から'97年度パールアイドル林貴子さん、パールプリンセス鶴田奈央子さん、石田充都子さん、  
前列は代表パールプリンセス長井千尋さん

# 第10回 神戸ファッションフェスティバル KFF98



1973年、全国に先駆けて「ファッション都市宣言」を行って以来、神戸は衣・食・住・遊など生活に潤いを与えるものを「ファッション」と捉え、行政、経済界、市民が一体となって都市づくりや生活文化産業の振興に取り組んできた。

今年、ファッション都市宣言25周年を迎え、神戸ファッションフェスティバルの開催も10回目を迎えるという節目の年。「生活文化事業」、「クリエイション事業」、「グルメディアKOBES事業」の3本柱でKFF98事業を展開し、震災から3年を経過したファッション都市・神戸のイメージアップを図る。

第1の「生活文化事業」では、

昨年10月に初開催した「神戸ハイカラミュージアムリカちゃん」とみる神戸ファッション産業物語」の第2段として、今年、神戸の衣・食・住・遊の生活文化産業の中から「食」を機軸テーマとした「神戸ハイカラミュージアムⅡ」食からみた兵庫・神戸の生活文化産業」を開催。

第2の「クリエイション事業」では、「神戸デザインナーコンボーズ」に新たにユーザーズデューを設け、消費者向けイベントを展開。このほか、多数の応募者から選ばれた子供達がキッズモデルとして登場する「神戸キッズコレクション」、25回を迎える「神戸ファッションコンテスト'98」並びに、神戸の地場産業であるケミカルシューズ産業をアピールする「ケミカルシューズイベント」の4事業を開催。

第3の「グルメディアKOBES事業」では、洋菓子のみならず神戸の人気イベント「神戸洋菓子パラダイス」を、また灘五郷のお酒と料理の相性を楽しむ「酒と食の愉しき集い」、神戸市内のグルメ飲食店・レストランを回遊し、味と様々な特典がうれしい「グルメゴーラウンド」の4事業を開催。

クチュールアトリエ

An Akemi

石原 曉美

芦屋市三条町6-27  
TEL&FAX.0797-31-1790

田崎真珠株式会社

代表取締役社長 田崎 俊作

神戸市中央区港島中町6-3-2  
TEL.078-302-3321  
FAX.078-302-8563

株式会社オールスタイル総本社

取締役社長 川上千鶴子

神戸市中央区港島中町6-5-1  
TEL.078-302-3311  
FAX.078-302-8787

# ～祝・ファッション都市宣言25周年～

## 【生活文化事業】

●神戸ハイカラミュージアムⅡ  
食からみた兵庫・神戸の生活文化産業

会期：9月10日（木）～10月4日（日）

会場：神戸ファッション美術館

## 【クリエイション事業】

●神戸デザインナーコンボーズド  
春夏コレクション展

会期：10月開催予定

●神戸キッズコレクション

会期：10月24日（土）

会場：（株）アシックスアトリウム

●ケミカルシューズイ

ベント

会期：10月開催予定

●神戸ファッションコンテスト'98

最終審査会

会期：11月14日（土）

会場：神戸ファッション

美術館



予定

## 【グルメディア

KOBE事業】

●神戸洋菓子

バラダイス

会期：11月開催予定

●酒と食の愉しき集い

会期：11月開催予定

●グルメゴリラウンド

会期：9月～12月の間

★神戸イベント&グルメガイドブック'98 KFF'98の開催概要や神戸のみどころ、グルメゴリラウンド参加店紹介、プレゼントクイズ等、情報満載の情報BOOK。  
（発行）7月予定  
（配布方法）神戸市内・他にて配布予定  
★KFF'98イベント情報サービス  
（電話番号・サービス）078-30615400（24時間対応）  
（インターネット・ホームページ）  
<http://www.kco.or.jp>



## K.F.S.

会長 石原 暁美  
副会長 中村 妙子  
西條 幹男  
木庭 廣知  
村岡 圭

（事務局）神戸市中央区下山手通3-1-18  
TEL.078-331-2246

## モードメイトミチコ

「タンスの中のルネッサンス」和服から洋服へ

主宰 藤井美智子

神戸市東灘区本山北町5-13-11  
TEL.078-431-8051

## K.F.M.

会長 藤本ハルミ

神戸市中央区山本通2-2-7  
オートクチュールマーガレット  
TEL.078-242-5690

agnès b. etc...!



アニエス ベー エトセトラ...!

1998年 5月1日[金]—7月5日[日]

神戸ファッション美術館

アートウイング(企画展示室)

六甲ライナー「アイランドセンター」下車

開館時間/午前11時—午後6時[金曜日は、午後8時まで] 入館は開館の30分前まで。水曜日は休館

主催/神戸ファッション美術館、販売新聞大阪本社、販売テレビ  
後援/フランス大使館、神戸市、神戸市教育委員会、財団法人神戸ファッション協会  
協力/ 池田 忠雄(池田忠雄) 富士写真フイルム株式会社

◆お問い合わせ

神戸ファッション美術館 TEL.078-858-0050

K

入館料(円)	一 般	小中学生・65歳以上
当 日	1200	900

■団体は30名様以上です

神戸ファッション美術館  
KOBE FASHION MUSEUM

〒650-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9番地  
TEL.078-858-0050 FAX.078-858-0058  
2-9 Koyochi-naka Higashinada-ku Kobe 658-0032 Japan